

令和 4年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名: 障害者支援課
 担当名: 地域生活支援担当
 内線: 3318

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B9	障害福祉サービス職員ハラスメント対策推進事業		一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者支援費	
事業期間	令和 4年度～	根拠法令	障害者総合支援法第1条、指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準第33条		針路分野施策	03 介護・医療体制の充実 0302 介護人材の確保・定着対策の推進	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-1, 3-2, 3-3, 3-4	
1 事業概要	障害福祉サービス事業所がハラスメント対策を講じることにより、職員の安全を確保し、安心して働き続けることができる体制を構築する。		5 事業説明					
	ア 複数訪問事業 694千円 イ ハラスメント相談窓口設置事業 792千円 ウ 安全確保対策推進事業 25,478千円 エ 障害福祉サービス安全啓発事業 800千円		(1) 事業内容 ア 複数訪問事業 694千円 複数の居宅介護職員等訪問系サービス事業所職員が居宅介護等を行った際、利用者やその家族等の同意を得られず、報酬が算定できない場合に費用補助を行う。 イ ハラスメント相談窓口設置事業 792千円 ハラスメントに関する訪問系サービス事業所職員からの悩み等に関する相談窓口を設置し、専門の相談員が相談支援を行うことにより、事業所における介護人材の確保及び定着の促進を図る。 ウ 安全確保対策推進事業 25,478千円 障害福祉の現場における利用者や家族からのハラスメントへの安全確保対策を講じる訪問系サービス事業所を対象として、安全確保対策に係る経費への補助を行う。 ※ 対象経費：警備会社の導入費用、通話録音装置等導入費用 エ 障害福祉サービス安全啓発事業 800千円 ハラスメント防止のための啓発資料作成。					
2 事業主体及び負担区分	ア (県9/10)、事業者1/10 イ (県10/10) ウ (県2/3)、事業者1/3 エ (県10/10)		(2) 事業効果 ハラスメント対策を講じることにより、障害福祉サービス職員が安心して働くことができるようになり、障害福祉サービス事業所において人材の確保及び定着の促進を図ることができる。					
3 地方財政措置の状況	なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500円×0.5人=4,750千円							
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
決定額	27,764						27,764	27,764
現計額	0						0	

事業内訳書

事業名	障害福祉サービス職員ハラスメント対策推進事業		
単位事業名	複数訪問事業	予算額	694千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	694	—	居宅介護等 192回分
合計	694	—	

単位事業名	ハラスメント相談窓口設置事業	予算額	792千円
-------	----------------	-----	-------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	792	—	相談窓口設置業務委託
合計	792	—	

単位事業名	安全確保対策推進事業	予算額	25,478千円
-------	------------	-----	----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	3,878	—	補助金審査業務委託
負担金、補助及び交付金	21,600	—	540事業所分
合計	25,478	—	

単位事業名	障害福祉サービス安全啓発事業	予算額	800千円
-------	----------------	-----	-------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	743	—	チラシ印刷代
役務費	57	—	資料郵送代
合計	800	—	